

令和6年度 奈良県立医科大学 一般選抜（前期日程）  
小論文試験 『出題の意図』

【1】

課題文は、進行がんで死去した筆者の親友が残した詩をもとに、治療困難な病名の告知を受ける患者の心境と、告知を行う医師に求められることについて述べた随筆である。

苦悩する患者に病名告知を行う医師に求められる資質について問うとともに、医療人を志す学生としての関心の高さや洞察力、表現力、論理的思考力を診た。

【2】

課題文およびグラフから情報を読み取る能力、さらにその得られた情報から背景を分析して社会的な解決策を提案できる能力について問うた。医学とは個々の患者を診察・治療するだけでなく、現代社会が抱える問題点(本問の場合は孤独死の増加)を浮き彫りにできるものであることを認識したうえで、明確な答えの無い問題の解決策を医師の目線で思考・創造する使命を負う。その能力を診た。